

■平成 28 年度版 サンシャイン第 2 学年 年間指導計画（例） —評価規準作成資料付き—

★①②③=各課の中のセクション番号

★PU=POWER-UP / L=Listening / S=Speaking / W=Writing

★MP=My Project (スピーキング活動)

★PT=パフォーマンステスト

★関=コミュニケーションへの関心・意欲・態度／表=外国語表現の能力／
理=外国語理解の能力／知=言語や文化についての知識・理解

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で扱う必要がある教材・学習活動」と「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時間数、主な学習活動などをご提案するものです。また、以下に示す重点化の考え方によらず、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます（以下の指導計画に沿って指導を行い、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移す）。

月	時	課	題材・ねらい	主な言語材料	評価規準	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
			□単元の目標	基本文(抜粋)	[評価の方法]	(色分けされている箇所は教科書のページと同色)
4	0	(1)	Classroom English (p.6) 英語を使ってみよう □授業で用いられる英語表現を用いて、コミュニケーションを図る。	文法事項 命令文 Come to the front. Go back to your seat. Can I ask a question?, etc.	表 ：伝えたい内容を正しく伝える。 [活動の観察] 表・理 ：質問や依頼を聞いて、適切に応じる。 [活動の観察]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Classroom Englishの文とイラストを見てやり取りの内容を理解する。必要に応じて辞書を用いる。【今後の授業でこれらの表現を使用する】 ◆「辞書を読んでもみよう」では、日本語の説明を読んで理解する。 ◆辞書を用いて「やってみよう」の1~4を調べる。 (1 時間)
			辞書を読んでもみよう (p.7) □辞書を用いて、英語についての知識を身につける。	関：辞書を活用して、積極的に英語を使おうとしている。 [活動の観察] 知：語と語のつながりに注意して、正しく文を書く。 [記述分析]		
4	1	(2)	Did You Enjoy Your Vacation? (pp.8-13) 由紀とウッド先生は、お互いの春休みについて語る。 ①自分の体験を説明する。 ②ものの様子を描写する。 ③行動を描写する。	文法事項 ①一般動詞の過去形(不規則動詞) I went to Kyoto with my friends. I took a lot of pictures there. ②be 動詞の過去形 I was busy with my homework.	関：過去の体験について自分の考えを積極的に話そうとしている。 [活動の観察] 表：文章構成に気をつけながら、まとまりのある文章を書く。 知：既習の文法表現を正しく使う。	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組む。

		<input type="checkbox"/> 英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を持つ。 <input type="checkbox"/> 過去時制の表現を正しく身につけ、運用する。	Was it difficult? The math questions were very difficult for me. ③過去進行形 What was she doing? She was playing tennis with her friends.	[記述分析]	み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write, およびp.13の1,2 は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
2	PU 1	W 連休の思い出 (pp.14-15) <input type="checkbox"/> まとまりのある英語を読んで、概要を理解する。 <input type="checkbox"/> まとまりのある英語を書いて、伝えたいことを表現する。	文法事項 過去形（一般動詞, be動詞）	理 ：日記を読んで、筆者の体験を正確に読みとる。 [(後日)テスト] 表 ：過去の体験や気持ちが読み手に伝わるように、文と文のつながりに注意して文章を書く。 知 ：既習の文法表現を正しく使う。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
5	0 (1)	英語のしくみ ① (pp.16-17) <input type="checkbox"/> 過去形や過去進行形などの文構造について復習する。	文法事項 過去形（一般動詞, be動詞） 過去進行形 音声 イントネーション, 音変化, 区切り	表・知 ：時制に注意して、過去の事実を正しく書く。 [記述分析] 関 ：読んだことについて積極的に問答しようとしている。 [活動の観察]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
4	2 (2)	A Trip to Finland (pp.18-23) 交換留学でフィンランドへ行くことが決まった由紀がマイクと対話する。 ①「～する予定です」とすでに決ま	文法事項 ①未来の表現：be going to ~ I'm going to play soccer with my friends.	関 ：未来の予定について積極的に伝えようとしている。[活動の観察] 表・知 ：録画して分析する場合。 表・知 ：未来の予定を正しく書く。	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。

		<p>っていることを言う。</p> <p>②「～しようと思う」と今この時点で決めたことを言う。</p> <p>③「～でしょう」と未来のことを言う。</p> <p>□未来の予定や意思を表す表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p>Are you going to play at the park?</p> <p>②未来の表現：will I will answer it.</p> <p>③未来の表現：will Will it be sunny? It'll be fun.</p>	<p>[記述分析]</p>	<p>◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。</p> <p>◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。</p> <p>◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】</p> <p>◆Q, Write, およびp.23の1 は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。</p> <p>(2時間)</p>
2	PU 2	<p>L&S 天気予報と予定 (pp.24-25)</p> <p>□天気などの身近な情報を表す表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p>語句・表現</p> <p>How will the weather be there tomorrow?</p> <p>It'll be snowy and cold.</p> <p>天気を表す語句</p> <p>音声</p> <p>似ている語の発音練習</p>	<p>理：天気予報を聞いて、情報を正しく聞きとる。 [記述分析]</p> <p>表・理：聞きとった天気予報をもとに、自分の考えを言い合う。 [活動の観察]</p> <p>表・知：イントネーションやリズムに注意して、正しく発音する。 [活動の観察]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
6	4 (2)	<p>3 What Can We Do for Others? (pp.26-31)</p> <p>世界の多くの国で行われている Charity Walk という慈善活動について知る。</p> <p>①条件についての情報を伝える。</p> <p>②必要か不必要かの考えを伝える。</p> <p>③自分の考えを言えるようにする。</p>	<p>文法事項</p> <p>①助動詞must You must wait for dinner.</p> <p>②have to ～ / don't have to ～ Do we have to buy a cake for her? No. We don't have to.</p> <p>③接続詞 that</p>	<p>理：時刻、場所、しなければならぬことなどを正しく読みとる。 [記述分析]</p> <p>関：積極的に相手に説明しようとしている。 [活動の観察]</p> <p>関・表：自分の考えを理論的に伝える。</p>	<p>本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。</p>

		<input type="checkbox"/> 義務や禁止を表す表現を正しく身につけ、運用する。 <input type="checkbox"/> 自分の考えを伝える表現を正しく身につけ、運用する。	I think (that) that's too early for me. I don't think (that) I'll be late.	知 ：正しい英語で表現できる。[PT]	◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
2	PU 3	S 電話①(依頼する・誘う) (pp.32-33) <input type="checkbox"/> 電話で用いる定型表現を身につけ、運用する。 <input type="checkbox"/> 誘ったり、依頼したり、約束したりする場合に用いられる表現を正しく身につけ、運用する。	<u>語句・表現</u> Hello, Kenta? This is Emily. Will you ~? Shall we ~? Yes, let's.	表 ：場面に応じた読み方ができるように音読・暗唱する。 [PT] 表・理 ：質問や依頼に適切に応じる。 [活動の観察] 表・知 ：自分の考えや大切な情報を相手に正しい英語で伝える。[PT]	※授業で行う必要がある。
0 (1)		英語のしくみ ② (pp.34-35) <input type="checkbox"/> 未来表現、接続詞などの文構造について復習する。	<u>文法事項</u> be going to ~, will, must, have to ~, should, I think (that) ~ <u>音声</u> イントネーション, 音変化, 区切り	表・知 ：既習表現を用いて、自分の予定やそれに対する気持ちや期待感を正しく書く。 [記述分析] 表 ：自分の予定やそれに対する期待を正しく伝える。 [PT]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
4	MP 4	スキット作りを楽しもう (pp.36-39) <input type="checkbox"/> 既習事項を用いて積極的に対話を発展させる方法を学び、スキットを演じる。	<u>文法事項</u> 文(疑問文), 助動詞などの既習事項	表・理・知 ：相づちを打ったり、質問をしたり、感想を述べたりできる。 関 ：できるだけ多くの文で応答しようとしている。 [記述分析] 表・知 ：正しい英文でスキットを作	※授業で行う必要がある。

					る。 関・表 ：積極的にスキットを表現しているか。 [PT]	
7	3	4	Eigo Rakugo (pp.40-43) 古典落語の英訳版。 ①The Hammer ある店のケチな主人が金づちを借りようとしたときの話。 ②A New Point of View よっさんととくさんのどちらが節約家なのかを話している。 □まとまりのある落語の文章を読んで、内容を理解し、落ちを理解する。どちらかひとつを選んで演じてみる。	<u>語句・表現</u> May I help you? Stick out Why not? all right point of view	理 ：内容を正しく理解し、そのおもしろさを読みとる。 [記述分析] 表 ：書かれた内容が表現されるように音読する。 [PT] 表・知 ：友だちの落語の発表について、感想を書く。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
9	4 (2)	5	Gulliver's Travels (pp.44-49) 『ガリバー旅行記』についての対話。 ①ものの存在を描写する。 ②物語の内容を説明する。 ③条件を説明する。 □ものの存在を表す表現や、時や条件を示す節の用法を正しく身につけ、運用する。	<u>文法事項</u> ①There is / are ～。 There is a good restaurant near here. ②複文 When you called me, I was sleeping in bed. If it's sunny, I'll go cycling with my brother.	関 ：絵に描かれた事実を積極的に聞き手に伝えようとしている。 [活動の観察] 関 ：自分の考えを積極的に伝えようとしている。 表・知 ：正しい英文で表現している。 [記述の分析] 表 ：自分の考えが伝わるように文章を書く。 表・知 ：正しい英文で表現している。 [記述の分析]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】

					◆Q, Write, およびp.49の1 は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
2	PU	S ファーストフード店で 4 (pp.50-51) □買い物で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。	語句・表現 May I help you? I'll have a hamburger, ~. What size cola would you like, small, medium, or large? Would you like anything else?	表：(ファーストフード店で) 場面に応じた注文の言い方ができるように音読・暗唱をする。 [PT] 表・知：注文の場面で必要な事柄を正しく伝える。 表・理：質問に適切に応じる。 [PT]	※授業で行う必要がある。
10	4 (2)	6 A Work Experience Program (pp.52-57) 職場体験を通して、由紀、武史、桃子が将来の夢について語る。 ①自分の夢について話す。 ②行動の目的を説明する。 ③ものを描写する。 □不定詞の用法を正しく身につけ、運用する。	文法事項 不定詞 ①名詞的用法 I want to be a music teacher. Do you want to sing with students? ②副詞的用法 I went to Tokyo to see my aunt. ③形容詞的用法 I want something to drink .	関：多少のミスを気にせず、積極的に自分の考えを話す。 [活動の観察] 表・知：正しい英文で表現している。 [記述分析] 関・表・理：相手の発言のポイントを聞いて、適切に応じる。 [(後日)テスト] 関：自分の考えを積極的に伝えようとしている。 表・知：正しい英文で表現している。 [記述の分析]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
2	PU	L&W インタビュー記事を書こう	文法事項	関：積極的に対話を続けようとして	

		5	(pp.58-59) □対話の内容から大切な情報を聞きとり、それらを英語で書く。	不定詞などの既習事項 音声 イントネーション, 音声変化	いる。 [活動の観察] 関：積極的に対話に取り組もうとしている。 [活動の観察] 表・理・知：インタビューで聞いたことを英語でまとめる。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	0 (1)		英語のしくみ ③ (pp.60-61) □There is / are 構文, 接続詞, 不定詞について復習する。	文法事項 There is / are 構文, 接続詞 when / if, 不定詞 音声 イントネーション, 音声変化, 区切り	理：書かれた内容や考え方などをとらえる。 [(後日)テスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
11	4 (2)	7	If You Wish to See a Change (pp.62-67) セヴァン・カリス=スズキが、長年取り組んでいる活動と自身の信念について語る。 ①人の行動を説明する。 ②変化の様子を描写する。 ③人の行動を説明する。 □動名詞の用法や, SVC, SVOO の文構造を正しく身につけ, 運用する。	文法事項 ①動名詞 I enjoy playing tennis. I like playing tennis too. ②SV (=look / become) C (形容詞) You look really cool. ③SVOO I'll give you a present tomorrow.	関：自分の考えを積極的に伝えようとしている。 [活動の観察] 表：自分の考えを正しく伝える。 [PT] 理：物語の内容を正確に読みとる。 表・知：自分の感想を正しく表現する。 [記述分析]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)

2	PU	S 道案内① (pp.68-69)	語句・表現	表：場面に応じた読み方ができるように音読・暗唱する。 [PT]	※授業で行う必要がある。
	6	□道案内で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。	Would you like some help? Could you tell me the way to the station? How long will it take? It'll take about five minutes.	表：道案内の場面で、必要な事を正しく伝える。 [PT] 表・理：質問に適切に応じる。 [PT] 表・知：道案内の対話を正しく表現する。 [記述分析]	
0 (1)		英語のしくみ ④ (pp.70-71)	文法事項	理：書かれた内容や考え方などをとらえる。 [(後日)テスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
		□動名詞, SV(=look / become)C(形容詞), SVOO などの文構造について復習する。	動名詞, SV(=look / become)C(形容詞), SVOO 音声 イントネーション, 音声変化, 区切り		
12	4 5	MP スピーチをしようーこんな人になりたい (pp.72-75)	文法事項	表：スピーチの内容が伝わるように、適切な音声で音読する。 [PT]	※授業で行う必要がある。
		□既習事項を用いて、自分の夢をスピーチ形式で表現する。	不定詞などの既習事項	表・知：自分の考えが読み手に正しく伝わるように、文構造や文章構成に注意して文章を書く。 [記述分析] 関・表：考えが伝わるように、適切な音声で積極的に話そうとする。 [PT]	
4	8	Friendship across Time and Borders (pp.76-79)	語句・表現	理：物語の概要やあらすじを理解する。 [(後日)テスト]	※授業で行う必要がある。
		イラン・イラク戦争のときにトルコの人たちが日本人を救出してくれたこと背景にある、日本とトルコの友好関係を紹介。	right away on the way home because of ~ keep up ~ go a long way	表：読んだことについて要点を話して表現する。 [PT] 表・知：読んだことについて感想を書く。 [記述分析]	

			<p>□まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。</p>			
1	4 (2)	9	<p>A Video Project (pp.80-85) 武史のクラスでは、留学生のサムの学校に送る学校紹介ビデオを作ることになった。 ①プロジェクトを相談する。 ②くわしく説明する。 ③活動や考えを説明する。</p> <p>□形容詞の比較級や最上級、原級を用いた比較表現を正しく身につけ、運用する。 □まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。</p>	<p>文法事項 形容詞の比較変化 ①比較級 It's smaller than Japan. France is larger than Japan. ②最上級 The Nile River is the longest river in the world. ③原級 He's as big as yours.</p>	<p>関：比較表現を用いて情報を積極的に伝えようとしている。 [活動の観察] 関・表：自分の考えや事実を相手に積極的に伝えようとしている。 [活動の観察] 関：自分の考えを積極的に伝えようとしている。 表・知：自分の考えを正しく英語で表現する。 [記述分析]</p>	<p>本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。</p> <p>(2時間)</p>
2	4 7	PU S	<p>買い物②(シャツを買う) (pp.86-87) □買い物で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p>語句・表現 Do you have a bigger one? I'll take it.</p>	<p>表：場面に応じた読み方ができるように音読・暗唱する。 [PT] 関：買い物の場面で、必要な事柄を積極的に伝えようとしている。 [活動の観察] 表・理：質問に対して適切に応じる。 [PT]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
2	4 (2)	10	<p>So Many Countries, So Many Customs. (pp.88-93) マイクと桃子がそれぞれの異文化体験を語り合う。 ①行為について描写する。</p>	<p>文法事項 形容詞、副詞の比較変化 ①more, most を伴う形容詞 It was more difficult than Questions 1 and 2</p>	<p>表：自分の考えを相手に正しく伝える。 [(後日)テスト] 関：相手の意見を聞いて、積極的に応じようとしている。 [活動の観察]</p>	<p>本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で</p>

		<p>②好みについて説明する。</p> <p>③ことばがもたらす誤解について説明する。(復習)</p> <hr/> <p>□形容詞や副詞の比較級や最上級、原級を用いた比較表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p>It was the most difficult of all the questions.</p> <p>②better, best の用法</p> <p>I like summer better than winter.</p> <p>I like summer the best.</p> <p>語句・表現</p> <p>at a loss</p> <p>help yourself</p>	<p>理：まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞きとる。 [(後日)テスト]</p>	<p>1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。</p> <p>◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。</p> <p>◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】</p> <p>◆Q, Write, およびp.93の2 は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆p.92の1 は、各自で取り組み解答を確認する。【解答が必要】 (2時間)</p>
2	PU 8	<p>W&S 賛成意見・反対意見を言う おう (pp.94-95)</p> <hr/> <p>□自分の考えを、まとまりのある英語で言ったり、書いたりする。</p>	<p>文法事項</p> <p>接続詞、比較表現などの既習事項</p>	<p>表：自分の考えが相手に伝わるように、接続詞や副詞を用いて書く。 [記述分析]</p> <p>関・理：聞き返すなどして、積極的に相手の意見や考えを理解しようとしている。 [活動の観察]</p> <p>表：与えられたテーマについて意見を言う。 [PT]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
4 (2)	11	<p>Yui—To Share Is to Live. (pp.96-101)</p> <p>白川郷の合掌造りを通して、人と人との関わりについて武史と由紀が発表する。</p> <p>①ものの様子を描写する。</p> <p>②ものの用途を説明する。</p> <p>③体験について語る。(復習)</p>	<p>文法事項</p> <p>①受け身の構造</p> <p>They are made in Hokkaido.</p> <p>②動作主のある受け身</p> <p>It was written by my grandfather.</p>	<p>関・表：事実を相手に積極的に伝えようとしている。 [活動の観察]</p> <p>表・知：自分の考えが相手に正しく伝わるように、段落の構成に注意して文章を書く。 [記述分析]</p> <p>表：身近なものについて簡単なスピーチをする。 [PT]</p>	<p>本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し</p>

		<input type="checkbox"/> 受け身の文を正しく身につけ、運用する。 <input type="checkbox"/> サンプル説明文の構成を理解し、まとまりのある文章を書く。			<p>定着を図る。</p> <p>◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。</p> <p>◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】</p> <p>◆Q, Write, およびp.101の2 は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆p.101の1 は、各自で取り組み解答を確認する。【解答が必要】</p> <p>(2時間)</p>
3	1 9	PU L 観光ガイドの説明を聞き取る う (pp.102-103)	<u>文法事項</u> 既習事項	理 ：まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞きとる。 [(後日)テスト] 理 ：正しく聞いて理解し、正確に読みとる。 [(後日)テスト]	※授業で行う必要がある。
0 (1)		英語のしくみ ⑤ (pp.104-105)	<u>文法事項</u> 比較変化, 受け身 <u>音声</u> イントネーション, 音変化, 区切り	表・知 ：ものを描写する英語の文章を正しく書く。 [記述分析]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
4	MP 6	CMを作ろうーこんなものがほしい い (pp.106-109)	<u>文法事項</u> 助動詞, 接続詞, 比較表現などの既習事項 <u>語句・表現</u> a pair of ~ This is the most useful ~. If you buy ~, you can Check it out!, etc.	表・知 ：自分の考えが読み手に正しく伝わるように、文章構成に注意して文章を書く。 [記述分析] 表 ：考えが伝わるように、適切な音声でスピーチする。 [PT]	※授業で行う必要がある。

4	12	Her Dream Came True. (pp.110-114) ある女子中学生の父への思いを託したクマのぬいぐるみが世界を巡る。 □まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	<u>語句・表現</u> come true die of ~ in his place Would you ~? pass ~ on to ...	理 ：物語のあらすじを積極的に読みとる。 [(後日)テスト] 表・知 ：読んだことをもとに、主人公の心情を適切に表現して書く。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
-		Extensive Reading (pp.116-119) Maria Talks about Her Life. □まとまりのある文章を読んで、概要を理解する。	<u>語句・表現</u> one day / thought and thought / and so get out of ~ / run away / for a living not ~, either / not good enough yet get into / go well / smile back / go back There are no ~.	理 ：物語のあらすじを正確に読みとる。 [(後日)テスト] 理 ：登場人物の台詞を聞いて情報を理解する。 [記述分析]	◆付録の読み物教材は、授業や家庭学習で扱わないが、希望する生徒には個別に発音や本文訳の配布などの対応をする。
計		76/100			(24/100 時間)